

令和5年度 沖縄県立知念高等学校 学校評価のまとめ

1 評価実施期間

- ・生徒、職員、保護者…令和6年2月5日(月)～令和6年2月15日(木)
- ・学校関係者……………令和6年2月21日(水)～令和6年3月8日(金)

2 回答率

生徒(89.3%) 職員(83.0%) 保護者(26.7%) 学校関係者(60.0%)

3 各評価の考察

(1) 職員による評価について

① 評価は12分野41項目。

「教育目標」「教育計画」「各教科・科目指導」「特別活動」「生徒指導」「進路指導」「健康・安全指導」「図書・視聴覚」「環境美化」「研究・研修」「家庭・地域」「働き方改革」

② 評価の高い項目…「達成した」と「ほぼ達成した」を合計した上位6項目。

1	【健康安全指導】本校はカウンセリングの普及・推進が行われ、カウンセリング体制が充実している。	100.0
2	【健康安全指導】本校は保健指導や健康相談が充実している。	100.0
3	【働き方改革】本校は同僚・管理者との良好な関係が構築できている。	98.2
4	【図書視聴覚】本校は図書館の図書が充実し活用されている。	98.2
5	【進路指導】本校は英語検定、漢字検定等、資格取得を推進している。	96.4
6	【生徒指導】私は生徒の話をよく聞くなどカウンセリングマインドに基づく生徒指導を行っている。	96.4

今年度から「働き方改革」の項目を追加し、41項目を設けた。そのうち肯定的な数値が高かったのは上記6つの設問であった。特に人権や健康意識の向上に対する取り組みや相談体制について評価が高かった。今後も継続して生徒が安心して過ごせる学習環境作りに努めたい。また、働き方改革の観点から職場の同僚、管理者との関係や連携は良好と判断している割合が高かった。今後も働きやすい職場環境作りを推進していきたい。

③ 評価の低い項目…「達成していない」と「あまり達成していない」を合計した下位5項目。

1	【働き方改革】個人の裁量(ゆとり)ある時間の確保ができている。	62.5
2	【生徒指導】本校の生徒指導は全職員がその場指導を徹底している。	37.5
3	【働き方改革】本校は心身の健康の確保と安全・快適な職場環境の形成ができている。	33.9
4	【働き方改革】教科指導のための研修や教材研究等が充実している。	33.9
5	【進路指導】私は宿題を与える等、家庭学習の習慣化を図る努力をしている。	32.1

否定的な回答の上位に「働き方改革」に該当するものが複数挙がっている。教職員の長時間勤務が課題になっている現状から、校務の整理と精選に早急に取り組み、ワークライフバランスのための時間の確保を図りたい。その他、生徒指導体制については次年度から

指導部から支援部に組織の再編を図ることで、今後更に連携が取りやすい体制を作っていきたい。

(2) 生徒アンケートについて

①評価は7分野30項目。

「教科指導」「進路指導」「生徒指導」「図書・視聴覚」「環境美化」「諸活動」「家庭連携」

②評価の高い項目・・・「そう思う」と「ややそう思う」を合計した上位5項目。

1	【諸活動】部活動が充実し、節度ある活動になっている。	94.5
2	【生徒指導】身なり指導や遅刻の指導が徹底している。	93.0
3	【諸活動】LHRの時間は有意義に活用され、充実している。	92.8
4	【諸活動】学校のホームページには必要な情報が掲載されている。	92.3
5	【生徒指導】本校には、いじめや暴力行為がない。	91.9

生徒の本校に対する評価は、生徒会活動をはじめ、部活動やLHR活動など諸活動において肯定的な回答が目立っている。生徒が活発に活動し、充実した学校生活を送っているという印象である。また、生徒指導においても指導が徹底しているとの回答が多かった。

③評価の低い5項目・・・「そう思わない」と「あまりそう思わない」を合計した下位5項目。

1	【進路指導】進路指導室は使いやすい。	31.4
2	【進路指導】本校の生徒はしっかり勉強している。	24.4
3	【生徒指導】本校の生徒は授業中と休み時間のけじめがはっきりしている。	23.1
4	【環境美化】教室内は整理整頓されている。	20.9
5	【図書視聴覚】視聴覚機器が整備され、活用されている。	20.3

否定的な回答としては、昨年度と同様の結果であった。特に進路室や進路情報の活用について、利用しやすい環境を整える必要がある。また、自主的・主体的に学習に取り組む姿勢は前年度と同じく本校生徒の課題であり、自覚を促し目標とする進路実現に向けて意識を高める工夫が必要と考える。今後も継続してしっかり指導して行きたい。

(3) 保護者アンケートについて

①評価は7分野20項目。

「教育目標」「学習指導」「進路指導」「生徒指導」「環境美化」「諸活動」「家庭連携」

②評価の高い項目・・・「そう思う」と「ややそう思う」を合計した上位5項目。

1	【教育目標】教育目標を踏まえた、教育活動が行われている。	92.3
2	【諸活動】生徒会活動が充実していて活発である	92.3
3	【生徒指導】服装容儀や遅刻等の指導が徹底されている。	91.9
4	【生徒指導】生徒は、学校生活を楽しく送っている。	91.6
5	【諸活動】部活動が充実し、節度ある活動になっている。	91.4

保護者の回答では、「諸活動」に関する設問と「生徒指導」に関する設問で高評価であった。教職員の回答と同様に、生徒が学校行事や生徒会行事、部活動など、積極的に高校生活を充実させていると感じている保護者が多いことがうかがえる。

③評価の低い項目…「そう思わない」と「あまりそう思わない」を合計した下位5項目。

1	【学習指導】家庭学習の習慣化に取り組んでいる。	31.2
2	【家庭連携】本校と保護者の連携は密になされている。	25.2
3	【環境美化】施設・設備は充実している。	23.5
4	【生徒指導】交通マナー等の安全教育が取り組まれていて安心できる。	21.3
5	【進路指導】生徒の希望や適性に応じた進路指導がなされている。	17.9

全体的に否定的な意見は少ない傾向であった。しかし、「家庭学習」の習慣化は本校の大きな課題の一つと認識しており、継続して学校全体として取り組んでいく必要がある。また「交通マナー」については、安全意識の向上や家庭との連携、情報共有を図って行く必要がある。日頃の教育活動の充実のためには、家庭との連携は大事な要素であり、保護者と連携し信頼される学校作りに邁進していきたい。

(4) 学校関係者による評価について

①評価は12分野35項目。

「教育目標」「教育計画」「各教科・科目指導」「総合的な学習の時間」
「特別活動」「生徒指導」「進路指導」「健康・安全指導」「図書・視聴覚」
「環境美化」「研究・研修」「家庭・地域」

②評価の高い項目

おおよそ教育目標、教育計画、教科指導、特別活動、進路指導等の領域で高い評価であった。今後とも、信頼を継続できるように取り組んでいきたい。

③評価の低い項目

評価が低かった領域は生徒指導の「全職員その場指導を徹底している」に関する項目について「あまりそう思わない」の回答があった。また「回答率をもっと上げる工夫」についてご意見があり、実施時期、方法等について次年度の課題とし改善に努めたい。

④その他

グローバル化やAIの活用など社会の変化に伴い、外国語教育やプログラミング教育など時代や社会の変化に対応できるよう、生徒・保護者のニーズに応える教育課程の改善が期待されている。

ヤングケアラー支援のための具体的支援体制の具体化を関係機関に訴えて欲しい。

教職が魅力ある職業になるよう教育現場における働き方改革を可能なことから一歩一歩具体的に進めることが求められている。